

久岡 昇 バリトンリサイタル

ピアノ 川口耕平

◆プログラム

1 部

川口耕平作曲

ソプラノ・バリトンのための

聖 夜

原作 A.J. クローニン

脚色 川口耕平

ソプラノ:小島美穂子

バリトン:久岡 昇

2 部

ウィーンの歌とウィーンの街

◆日 時 2023年10月14日(土)14:00開演(13:30開場)

◆会 場 長野市芸術館リサイタルホール(地下2階) 全席自由

◆入場料 一般3,000円 学生1,000円

主 催／久岡昇バリトンリサイタル実行委員会

後 援／長野市教育委員会 信濃毎日新聞社

プレイガイド／長野市芸術館チケットセンター TEL:026-219-3191【10:00~19:00/火曜定休】

ヒオキ楽器 美鈴楽器

お問い合わせ／090-4548-4701(小島)



ウィーンの歌 (シュランメルムズィーク)

ヴィンドボナ素晴らしい街 ヨーゼフ・シュランメル
 僕の母さんはウィーン生まれ ルードヴィヒ・グラーバー
 グリンツィングの天国通り カルル・フェーデルル
 ウィーンの辻馬車の歌 グスタフ・ピック
 ウィーンわが夢の街 ルドルフ・ズイツィンスキー 他

出演者プロフィール



久岡 昇 (ひさおか のぼる) バリトン

国立音楽大学声楽科卒業。同専攻科修了。二期会研究生在籍中「タンホイザー」のヴォルフラムに抜擢され、その大役を果たす。67年より3年間ウィーン・アカデミー音楽学校に留学、ゲザング科を最優秀で卒業。帰国後「ホフマン物語」「ラ・ボエーム」「魔笛」「ブルスキーノ君」「真夏の夜の夢」等に出演。特に二期会公演「パリアッチ」のシルヴィオと東京室内歌劇場公演「隅田川」の渡守役に対して、第3回ウィーンナーワールド・オペラ賞を受賞。その後「コシ・ファン・トゥッテ」「フィガロの結婚」「ウェルテル」「椿姫」等に出演しサヴァリッシュ指揮の「魔笛」ではペーター・シュライヤーとの共演でパパゲーノを演じ絶賛された。日本のオペラ作品にも数多く出演し、「夕鶴」「虎月傳」「春琴抄」「黄金の国」「ペトロ岐部」「モモ」「昔噺人買太郎兵衛」「罪と罰」「脳死をこえて」等を歌っている。またBunkamura オペラでは「魔笛」のパパゲーノや「蝶々夫人」のヤクシデ、ヤマドリ役に新境地を開いた。コンサートにも数多く出演しNHK 大河ドラマ「信長」のテーマ曲を歌っている。二期会会員。元国立音楽大学・大学院教授。平成24年庄原市市民栄誉賞受賞。



川口 耕平 (かわぐち こうへい) ピアノ

東京芸術大学で作曲を学ぶ。故下総皖一、故高田三郎、故田村宏、三石精一の各氏に師事。二期会オペラ上演の練習ピアニストを手始めに、多くの声楽家の演奏会の伴奏者として多年活動が続けた。1968年に来日した世界的テノール歌手フェルッチョ・タリアヴィーニ氏の全国主要都市に於ける独唱会の伴奏を行い、以後10年間名テノール五十嵐喜房氏の専属伴奏者をつとめた。その間、大垣女子短期大学、千葉大学に勤務し、現在千葉大学の名誉教授。作曲活動は50才頃より開始し、一人の歌手による音楽物語を多数発表している。その中には「ヨナの物語」、「最初の奇跡」など聖書による作品も含まれている。独唱曲、合唱曲では「水野源三による聖歌集」が特に知られている。

